



喜多方市

【教育目標】健康で自らを育てる 心豊かな児童の育成



令和5年度
学校だより
第16号

豊かっ子

喜多方市立豊川小学校
令和5年12月13日(水)
発行責任者
校長 佐々木 豊

祝 創立
150
周年

◎ (心も体も) つよい子 ◎ (自然と友達に) やさしい子 ◎ (真剣に) まなぶ子

熟議「子ども達が地域に愛着を持つにはどうしたらよいか」

12月6日(水)に学校運営協議会を行いました。今回は学校運営協議会委員の皆様と豊川小の職員で「熟議」を行いました。「熟議」とは、『熟慮』と『議論』を重ねながら課題解決を目指す対話のことです。



今回の「熟議」は、「子ども達が地域に愛着を持つにはどうしたらよいか」をテーマに行いました。これは学校運営協議会の

地域とともに目指す子ども像
『**地域の人と関わりながら、夢中になれることに挑戦する子ども**』

から設定しました。「地域の人と関わりながら」には、「もっと地域に関心を持ってほしい」「できたら将来地元に戻って地域のために尽くす人になってほしい」という願いが込められているからです。

「熟議」では、豊川地区への誇りと愛着や地域の一員という自覚を育てるためにはどうしたらよいか熱心な話し合いが行われ、いろいろなアイデアや意見が出されました。

～「熟議」で出た「子ども達が地域に愛着を持つためのアイデア」紹介～

- 地域を知る(生活科町探検、見学学習、地域を調べる学習、地域の活動への参加など)
- 地域行事への参加(町民運動会、公民館まつり、子ども会行事、水質調査など)
- 地域の方との交流(学校支援ボランティアの方々との交流、各地区での大人との交流)
- 地域のために役に立ったという経験や達成感(ボランティア活動など)
- 小中学校での「楽しい思い出」と地域への「感謝の気持ち」

地域に愛着を持つことができるように、年末年始の地域行事などへお子様と参加してみたいかがですか。

ちょっといい話

先日「Z君が『登校するときにごみが落ちている』と土日にごみ拾いをしたそうです。」と2年担任の絹子先生から聞きました。ちょうど「熟議」で「地域のために役に立ったという経験や達成感(ボランティア活動など)」を話し合ったばかりだったこともあり大変感心しました。まだ2年生なのに、地域のために自分から行動できて素晴らしいです。

楽しかったふれあい集会 ～ 異学年交流で絆を深めました ～

11月24日（金）3校時に全校生でふれあい集会を行いました。

前半は、縦割り清掃班ごとに行いました。カードゲームやしりとり、風船バレーボールなど、班ごとに自分たちがやりたい活動を楽しみました。

後半は、運営委員会の児童が担当し、全校生でじゃんけん大会と〇×クイズを行いました。じゃんけんの結果や〇×の正解が発表されるごとに、歓声が上がりました。

今年度の豊川小学校の学校スローガンは、

「やさしい言葉と笑顔で絆を深め がんばり続ける豊かっ子」
です。やさしい言葉と笑顔で楽しく活動し、絆を深めることができました。



さつまいもパーティー ～ お世話になった農業科支援員さんと収穫に感謝 ～

12月5日（火）に1・2年生がさつまいもパーティーを開きました。

畑で育てたさつまいもの調理やパーティー会場の準備は、1・2年生が自分達で力を合わせて行いました。さつまいもは、3種類の茶巾絞りにしました（プレーン味、ごま味、ココア味）。

パーティーではお世話になった農業科支援員の細田俊夫さんを招待しました。歌とダンスやお礼の言葉で感謝の気持ちを伝え、最後にみんなで書いた手紙もプレゼントしました。



薬物乱用防止教室 ～ 「薬物は絶対ダメ」を学びました ～

12月8日（金）に、薬物乱用防止教室が開かれ、6年生が会津喜多方ライオンズクラブの方からお話を聞きました。

薬物とは何か、乱用とはどういうことか、乱用するとどんな影響があるのか等をDVDやパワーポイントを使い教えていただきました。また、薬物の使用をさそわれたときはどんな言葉で断ったらいいか、具体的な対応まで教えていただきました。

今回学んだ「薬物は絶対ダメ」を忘れずに、これからも行動してほしいと思います。

